

みぬま見聞館だより No.43

平成 29年3月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

右の写真はオオタカです。庭園に時々現れる食物連鎖の頂点の鳥です。

今年は例年より、アオジ・カシラダカの数が、かなり少なかったように思います。

4月以降、出前講座「見沼の生き物」を行います。内容は、大宮南部浄化センターに訪れる生き物を中心に写真を用いて説明いたします。昨年度は海老沼小学校、今年度は沼影小学校で行いました。

ぜひご利用ください。



オオタカ

ヒクイナ現る！



市民からの情報で大宮南部浄化センターの近くにヒクイナがいると聞き、さっそく出かけてみました。見つけた方の話では、最初ネズミが動いているのかと思ったそうで、教えていただいた場所に何回か行ってみましたが、なかなか会うことができず苦労しましたが、ついに写真を撮ることができました。

背中黒っぽく、お腹、足は赤く、目も真っ赤で辺りのエサを探していました。

観察していると扇状（おおぎじょう）

に尾羽を広げてくれました。

警戒心が強く、3分位その場を離れて戻ると、もう姿がありませんでした。

この付近で見かけることは珍しく、この場所に住み着いてくれると良いのですが。

ヒクイナはツル目クイナ科の鳥で、昆虫類をエサにします。

埼玉県レッドデータブック*に掲載され、絶滅危惧（ぜつめつきぐ）Ⅰ類に分類されています。

*レッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）

絶滅＞野生絶滅＞絶滅危惧Ⅰ類＞絶滅危惧Ⅱ類＞準絶滅危惧
絶滅の度合いは左にいくほど大きくなります。



アトリが庭園にやってきた！



庭園で鳥が動いているのを見つけシャッターを切ってみると、写っていたのは庭園で初めてお目にかかるアトリです。浅い水辺のそばで盛んにエサを探していました。本来、たくさんの数の群れで行動するようですが、この時は1羽でした。後日、大宮第二公園でもアトリの群れを確認できたとのことで、夏と冬で羽の色が異なるそうです。

アトリはスズメ目アトリ科の鳥で、木の実や草の種子を食べます。

エナガ・・・・・・・・・・しっぽがながーい！



今まで庭園で何度か群れで移動する姿を見かけていましたが、やっと写真が撮れました。木の周りをエサを捕るために忙しく動き回っていて、大きさはほぼスズメと同じですが、全体のうちしっぽが占める割合がとても大きく長いです。撮影が夕方に近かったため、色のはっきりしません。身体の脇のピンク色がとてもきれいです。スズメ目エナガ科の鳥で、アブラムシなどの小さな昆虫やクモなどをエサとします。顔もなかなかかわいいです。

マイマイカブリ



普段、庭園を歩いていてもなかなかお目にかかれませんが、落ち葉置場の朽ちた木枠を片付けていたところ、中から2匹のマイマイカブリが姿を現しました。体はわずかに金属光沢があり全身がほぼ黒色です。オサムシの仲間で、カタツムリ（マイマイ）を食べるのでこの名前が付いたそうで、長い頭をカタツムリの殻の中に入れて消化液で溶かして食べます。他にもいろいろな甲虫（こうちゅう）の子供が越冬していました。

浅嶋先生のワンポイント教室

今回は自然庭園で早春を告げる野草についていくつか述べてみたいと思います。

①オオイヌノフグリ②ホトケノザ③ヒメオドリコソウは寒風や陽だまりの中で春が来たことを告げるかれんな野草たちです。

①オオイヌノフグリの明るい青空を思わせる花が一斉に咲く姿はとても目をひき「星のひとみ」と呼ぶ地域もあります。

②ホトケノザはシソ科の植物で、花は上唇（じょうしん）と下唇（かしん）を開いたいわゆる唇形花（しんけいか）と呼ばれる作りをしていて、群生しているとまるで赤いじゅうたんを敷きつめたようです。

③ヒメオドリコソウもホトケノザと同じシソ科の植物で、その美しい花が編笠（あみがさ）をかぶった踊り子が、ぐるりと輪になって踊っているように見えることから名づけられました。

他の野草たちもそうですが、冬越しの姿と花の咲いている姿の両方を覚えると、野草観察の楽しみがずっと増すと思います。

*浅嶋先生は、以前草加市立栄中学校で理科を担当していらっしゃいました。

①オオイヌノフグリ



②ホトケノザ



③ヒメオドリコソウ



み ら 未来くるワーク体験



木崎中学校



大原中学校



第二東中学校

今年も、さいたま市中学生職場体験事業「^{み ら}未来くるワーク体験」を1月18日～20日木崎中学校5名、1月25日～27日大原中学校4名、1月31日～2月2日第二東中学校5名が大宮南部浄化センターで職場体験に取り組みました。職員と一緒にみぬま見聞館の開館準備、施設の清掃や自然庭園の除草などの仕事を体験し、最後に職場体験についてまとめたパネルを作成しました。当センターでの職場体験が今後生きることを願っております。また、生徒が作成したパネルは見聞館に展示しておりますのでご覧ください。

土曜チャレンジスクール行われる！

1月14日大宮南部浄化センター『みぬま見聞館』において、芝川小土曜チャレンジスクールが行われました。し尿処理、見沼の鳥や双眼鏡の操作、さらに環境総務課による『生物多様性』の話がありました。その後、芝川、庭園の野鳥を観察し、短い時間ながらユリカモメなど12種類の野鳥が確認でき、最後に『生き物調査票』に記入しました。

今回のチャレンジスクールを通じて、身近に様々な生き物がいることに興味を持ってもらえたらうれしいと思います。



し尿処理について



生物多様性について



双眼鏡を用いた野鳥観察

団体見学がありました！



①庭園散策



②南部浄化センターでの出発式



③パネルシアター



④し尿処理の説明

①11月22日浦和ひなどり保育園が遠足に訪れました。

②11月23日見沼区主催の「てくてく見沼」が行われました。

③11月29日そらいろ保育園が遠足で訪れました。

④11月30日上木崎小学校4年生が総合学習で訪れました。

お知らせ 4月23日（日）春の自然観察・環境学習会が行われます。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）



この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,100部 単価 15円

